

第1回 海南市総合計画審議会 議事要旨

日時：令和6年7月9日 午後3時55分から

場所：海南市役所 2階 第1委員会室

1. 議事

- (1) 会長、副会長の選出
- (2) 第4次海南市総合計画の策定方針
- (3) 第4次海南市総合計画策定スケジュール
- (4) 第3次海南市総合計画及び第2期海南市人口ビジョン・海南市総合戦略の進捗状況
- (5) 意見聴取
- (6) その他

2. 会議結果

- (1) 会長、副会長の選出
会長は高岡委員（和歌山大学教授）、副会長は小久保委員（海南商工会議所会頭）に決定した。
- (2) 第4次海南市総合計画の策定方針
※意見等なし
- (3) 第4次海南市総合計画策定スケジュール
※意見等なし
- (4) 第3次海南市総合計画及び第2期海南市人口ビジョン・海南市総合戦略の進捗状況
※意見等なし
- (5) 意見聴取
(A委員)
子育て世代インタビュー調査について、支援センターに出てこられる保護者は、元気なお母さん。インタビュー対象に偏りがあると思う。健診時などに聞き取りするなどしてバ

ランスが必要ではないか。

(B委員)

他の意見聴取でも偏りは生じる。調査結果がすべてではなく、結果をもとにここで審議したい。関連する資料があれば出してもらえれば審議の材料にしたい。

(事務局)

健康課の保健師等が健診等で訪問する際に聞き取りを行っている部分もあり、計画策定の参考にしたい。

(C委員)

高校生アンケートについて、海南高校は進学率が高く、進学等で市外へ出ると戻ってくる学生は少ない。どうすれば戻ってくるかも調査してほしい。

(事務局)

設問に同趣旨のものを設定している。

(D委員)

総合計画には下津町地域の活性化策を盛り込んでもらいたい。

(A委員)

海南高校には海南市在住の生徒は半分程度。市内の中学生の海南高校への進学率はどのくらいか。また、中学生にアンケートしてはどうか。

(事務局)

市外の生徒には、市外から見た海南市に対する意見をもらえるよう設問を工夫している。進学率については後日回答する。以前、中学生を対象にまちの将来についてのアンケートを実施したが、回答に苦慮したと聞いている。例えば、中学校生徒会など対象を絞って意見聴取できないか検討する。

(E委員)

アンケートの回答数の有効性。各意見聴取の目的は。

(B委員)

有効回答率が30%から40%なら統計学的に母数が2,000でも問題ない。アンケート等は情報収集に役立つが、その結果に基づいて議論するのが審議会の役割。追加的に意見聴取してほしい内容があれば事務局に伝えてほしい。

(6) その他

(F委員)

市内には優良な企業も多く、魅力ある海南をつなげていければと思っている。